

## 第1回 江別市本庁舎建設基本計画検討委員会会議録(要点筆記)

日 時: 令和5年10月10日(木)10:00~12:00

場 所: 江別市役所本庁舎2階 公室

出席委員: 末富弘会長、小室晴陽会長代理、西澤拓哉委員、藤本直樹委員、伊藤祥子委員、伊藤留美子委員、工藤祐三委員、鴻野徹委員、佐藤行泰委員、鈴木智枝委員、根木航委員、星優子委員、松村昭二委員、岡崎朱実委員、鴨田啓治委員  
計15名

事務局: 野口総務部調整監、西島総務部参事(庁舎耐震化担当)、上ノ山主査(庁舎耐震化担当)、大久保主査(庁舎耐震化担当)

その他: ㈱ドーコン北條理事、中嶋主任技師

傍聴者: 1名

### 会議概要

#### 1 開会

#### 2 委嘱状交付

川上副市長から各委員へ委嘱状を交付

#### 3 副市長挨拶

#### 4 委員紹介

#### 5 会長・会長代理の選任

委員の互選により、会長に末富委員、会長代理に小室委員を選出

#### 6 検討委員会の目的及びスケジュールについて

事務局から検討委員会の目的、スケジュールについて説明

#### ○末富会長

基本計画策定後のスケジュールはどうなっているか。

#### ○事務局

策定後、庁内合意が得られれば基本設計へ進んでいくことになる。

#### ○岡崎委員

市民説明会とパブリックコメントとの違いは何か。

また、パブリックコメントの際には計画案の骨格が決まっており市民意見の反映がしにくいと思うが、パブリックコメント前に意見を反映できる機会はあるか。

○事務局

市民説明会は1回開催する予定。

市民意見の反映についてはパブリックコメント時でも可能であり、第5回・第6回の委員会で検討して頂きたいと思う。

7 本庁舎建設基本構想の概要について

事務局から基本構想の概要について説明

○藤本委員

基本構想と基本計画では何が違うのか、イメージを教えてください。

○事務局

基本構想では様々な項目を出してもらったが、基本計画では、これらを基にしながらか各項目について具体的な方向性を決めていきたい。

○西澤委員

事業方式について、基本計画内で決めていくのか。

○事務局

基本計画の中で事業手法を決めていきたい。

○岡崎委員

PFI 方式では事業者選定期間の記載があるが、従来方式では、事業者選定はどの段階で決めていくのか。設計者と施工者は別なのか。

○事務局

基本設計、実施設計、建設工事のそれぞれの段階で決めていくことになる。また、設計者と施工者は一般的には別になる。

○小室会長代理

事業費が重要になると思うが、物価上昇などをどのように考えているのか。

○事務局

基本構想では、参考となる最新の庁舎の平均値で算出している。これは昨年度の数値として認識して頂きたい。物価上昇については基本計画策定の際にも適宜考慮する。

○鈴木委員

類似の市町村でどこを参考にしたのか。

数値だけでは具体的にイメージしにくいので、写真などがあるとわかりやすい。

○事務局

基本構想の例では、P33やP39に記載しているとおり。

○藤本委員

基本構想のP22やP30で示した写真のように、基本計画の中でも具体的に示してくれるだろうと考えている。

○伊藤(留)委員

m数について、どのように算定したのか。

○事務局

基本構想 P32 の新庁舎の面積算定で、国の基準によって算定している。  
今後、適正な庁舎面積について検討していきたい。

8 協議事項

基本理念・基本方針を実現するための機能等

○岡崎委員

「△:検討する」というのは、どのような理由で△となり、何を検討するのか具体的に示してもらった方がよい。

○事務局

△となっている項目について、例えばZEBについては、どのような設備とするかが大きく影響する。現時点では設備の内容を決めることが出来ないため、引き続き検討していくこととしている。  
太陽光発電については、設置は考えているが、設置場所や枚数は場所について引き続き行う。  
公用車のEV化については、検討していくべきものであるが、台数や導入時期、充電スポットの設置など、今後検討が必要になってくるため、現段階では引き続き検討していくこととしている。

○伊藤(留)委員

ZEBについてわかりやすく説明して欲しい。

○事務局

ZEBはNet Zero Energy Buildingの略で、いくつかランク分けされている。ZEBは省エネと創エネにより、必要なエネルギーを0%にする最高ランクのもの。Nearly ZEBは、25%以下にするもの。ZEB Ready は、省エネで50%以下まで削減するもの。ZEB Oriented は、事務所等では60%以下にするものを目指したもの。今後江別市はどのランクにするかは今後検討していくもの。

○伊藤(留)委員

省エネについては、検討するというより採用する方が良いのではないか。

○岡崎委員

省エネは当然行っていくことになるのではないかと。

行っていくのは、基本方針に記載されている項目があって、確定できない内容が検討項目の方向性で△の検討するになっているという理解でよいか。

○末富会長

確定できないものは「△」ということだと思う。

○事務局

その通り。

○藤本委員

検討項目の方向性の△については、詳細を決める必要があると理解したが、カラー版の資料についても意見を求められているのか。

△については、基本計画の中でも「～検討します」という記載にしたいということによいか。

○事務局

その通り。基本計画の中では、保留のような形になるため、基本設計の段階で詳細を固めていければと考えている。

また、カラー版資料は基本計画(案)に反映されるものである。

○藤本委員

技術的・専門的なことが含まれている項目については、最終的には基本設計以降で決めていくと理解した。

公用車のEV化については、基本計画に載せるべきなのか判断できていないため事務局の考え方を教えて欲しい。

○事務局

公用車の台数や充電スポット等については、基本計画の段階で明記するのは時期尚早となるため、基本設計の中で検討していくことと考えている。

○藤本委員

基本計画にどのように記載されるかがわからないと判断しにくい。

○岡崎委員

同意見である。検討委員会でどのように何を議論するかがわかりにくい。

○事務局

例えば電気自動車については P21にあるような記載を考えている。

○岡崎委員

基本構想からどのような検討をし、このような計画となっているということもまとめた方が良いのではないか。

○鴨田委員

基本計画では検討項目として挙げておき、詳しい部分は設計の段階で検討していくということで良いと思う。

○事務局

そのような趣旨で資料を作成していた。この場でご意見があれば、取り入れていきたい。

○末富会長

検討項目として残しておくという意味だと理解したが、もう少し詳しい資料が必要である。

○小室会長代理

基本構想段階で「検討項目」まで記載しているが、「詳細」の記載の仕方については、何を根拠に出してきたのかを示した方が良い。

○事務局

「詳細」の項目については、事務局の方で検討し整理したもの。こういった詳細の項目があった方が良いという提案があれば頂き、ご議論頂きたい。

○末富会長

資料を見て追加する項目や質問があれば、委員会後に事務局に連絡するというのでいかがか。

○西澤委員

採否の判断がわかりにくいと感じた。また、電気自動車等の利用については、庁舎建設とは直接関係ないのではないか。

○事務局

基本構想の中でも、省エネ・環境負荷低減機能として示させて頂いている。

○西澤委員

充電スポットは基本計画への記載について理解出来るが、公用車のEV化は庁舎の運営についてのことなので、基本計画への記載は疑問である。

○末富会長

公用車の電気自動車については、今提案を受けたので記載について検討してほしい。

○事務局

検討する。

○岡崎委員

再生可能エネルギーの活用に関して、記載事項は割とハードに関する内容だが、ソフト面の内容は記載されないのか、例えば再生可能エネルギーで作られた電気の利用を100%にするといった内容は基本計画の中で決めるのか。

○事務局

基本計画の中では、具体的に決められない事項になる。

○工藤委員

基本構想 P2「基本構想策定の趣旨・位置付け」の中で、基本計画は「利便性や技術的側面からの検討を行い～」と記載されており、基本理念や基本方針に沿った内容であり逸脱していないかを議論していきたい。

○岡崎委員

カラー版と検討項目の方向性の文言が異なるため、事前に理解するのが難しかった。ため、わかりやすいように配慮してほしい。

○鴨田委員

基本構想の中で、EV公用車の車庫の設置方法などが盛り込まれている。車庫についても基本計画の中で話し合っていくというものだと思う。そこでEV車両が「△」になったと理解して良いか。資料の中でZEBの事例が掲載されているが、もしわかれば人口や職員数を追加で示して欲しい。

○事務局

ZEB事例の資料の人口や職員数などは別途お知らせする。

○岡崎委員

事例に関しては、悪かった点や改善点もヒアリングなどして欲しい。

○末富委員長

時間もないので、これまで発言がなかった方から一言頂きたい。

○伊藤(祥)委員

勉強して次回の委員会に臨みたい。

○伊藤(留)委員

資料を理解できない状況であるため、勉強して次回の委員会に臨みたい。

○鴻野委員

今年度から初めての委員となるため、勉強して次回の委員会に臨みたい。

○佐藤委員

庁内検討委員会と本検討委員会の位置付けを教えてください。この会議での検討結果はどのように扱われるのか。最終的には庁内検討委員会で決めるということか。

○事務局

本検討委員会の検討結果は、庁内検討委員会に報告する。本検討委員会では、特に市民に関連する内容を検討項目としている。庁内検討委員会は、事業費等庁内に関連する内容を検討項目としている。

本検討委員会の意見を頂戴し、尊重する中で、庁内検討委員会では報告を基に協議し、最終的には市長が決定する。本検討委員会の意見を単に聞き置くということではない。

また、今回の資料が分かりづらかったとのご指摘があったので、修正した資料を送付して改めてご意見を伺うこととしたい。

○鈴木委員

個人の意見と団体の意見を吸い上げてきても、検討委員会で反映できるのかギャップを感じた。

市民の意見としては、機能が分散しているので、市民が利用しやすく、自分たちが集いたいと思う庁舎にしていきたい。

○根木委員

今回の資料と、基本構想を勉強して次回から望みたい。

○星委員

省エネの目標設定に関して、ZEBランクの設定でわかりやすく庁舎の事例が示されており、ほとんどがZEB Readyとなっており、1つだけNearly ZEBとなっている。江別市では出来るだけ高い目標設定として欲しい。出来ない場合はなぜ出来ないのか、市民の方にも理解できるように示して頂きたい。

○松村委員

EVの話などは、今後10年後も存在しているかなど、勉強しながら検討していかなければならない。

9 閉会

以上